

## “森林(やま)とのお見合い”に参加しました！

平成30年10月28日(日)、魚津市内で県内各地から親子25名の方が参加し、“森林(やま)とのお見合い”が開催されました。

“森林(やま)とのお見合い”は新川森林組合が中心となり、森林が伐採されてから建物として使われるまでの工程を見学し、森づくりと木材利用について理解を深めてもらう活動で、今年で17回目となるイベントです。

これまでは、見学中心だったイベントでしたが、今回から体験活動も盛り込んだイベントにリニューアル。例年以上の人気で定員がすぐに埋まったそうです。

県からは各会場へのバス移動の際に森林の現状や木材利用の意義などを説明しました。

最初に全国初の木造3階建の小学校として整備中の「星の杜小学校」建設現場を見学しました。

設計事務所の方から木材の使い方の工夫などの説明があり、魚津市産材をふんだんに使用した建物に参加者は驚いた様子で、「完成後の小学校で勉強したい。」という子どもたちの声もありました。



木造校舎に興味津々



丸太椅子完成！

最後に三ヶ地内の森林に移動し、新川森林組合から間伐の必要性について説明を受けた後、有限会社尾谷林業の尾谷社長による間伐作業が行われ、木が倒れる迫力を間近で見学しました。

その後、大人の方にチェーンソーでの丸太切りを体験してもらいました。最初は恐る恐るチェーンソーを握っていた方も、上手に切れると笑顔に変わり、「よい香りがする、柔らかい、とても重いね。」など伐採直後の木を様々に感じていたようです。

笑顔がたくさんあふれた“森林(やま)とのお見合い”で、良い縁結びができたようです。

次に新川森林組合の木材加工場で、レーザー加工機での木材加工の説明を受けた後、丸太を使った椅子づくりを体験しました。

参加者は、親子で協力し合い、トンカチを使って、椅子づくりに熱心に取り組まれていました。



伐採した木の年齢を数えてみました